

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

| | | | |
|------------|-------|-------------|-------|
| 部局名 | 農林水産部 | 部局長名 | 切通 幸生 |
|------------|-------|-------------|-------|

| | | | | |
|--------------|-------|------------|-------|---|
| 部局内の 経営資源 | 当初予算 | 2 4 . 6 億円 | | |
| | 構成人員 | 職員 | 嘱託 | 計 |
| | 4 9 人 | 1 0 人 | 5 9 人 | |

| | | | |
|---------------------------|---|--------------|--|
| 部局の使命 (組織の存在価値) | <p>農林水産部の使命は、地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくりを展開することである。</p> <p>(1) 担い手の確保と重点 7 品目を中心とした産地づくりを推進する。</p> <p>(2) 耕作放棄地の有効活用を行う。</p> <p>(3) 畜産業の振興を強力に推進する。</p> <p>(4) 農業生産基盤の整備を行う。</p> <p>(5) 農村地域の特性を活かした住みよい生活環境を整備する。</p> <p>(6) 自然環境に配慮した林道を整備し森林施業を推進する。</p> <p>(7) つくり育てる漁業を推進する。</p> <p>(8) 水産業担い手を育成確保する。</p> <p>(9) 漁港及び漁場の整備を充実する。</p> <p>(10) 農林水産物及び加工特産品のブランド化を推進する。</p> | 組織目標像 | <p>【施策の目標像】</p> <p>(1) 「農業振興基本計画」及び「農村環境計画」に基づく施策に取り組む。</p> <p>(2) 新たな農林水産業施策への取組を確立する。</p> <p>(3) 農林漁家の所得向上と経営安定を支援する。</p> <p>(4) 農林漁家の経営基盤を強化する。</p> <p>(5) 家畜伝染病の発生防止と畜産環境の保全を行う。</p> <p>(6) 農業基盤整備と農業用施設の維持管理を充実する。</p> <p>(7) 公益的機能を発揮する森林整備を実現する。</p> <p>(8) 水産物地方卸売市場整備の可能性調査を実施する。</p> <p>(9) 農地管理を徹底する。</p> <p>(10) 農地流動化を推進する。</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>(1) 産業活力をさらに創出するため組織体制の強化</p> <p>(2) 農林漁家の目線に立った、農（畜）林水産業の振興</p> <p>(3) 農家への技術指導體制の強化</p> <p>(4) 農林漁家からの要望に即応できる職員</p> <p>(5) 農地・水・環境保全向上対策支援事業の確立</p> <p>(6) 農業委員会の機能充実</p> |
|---------------------------|---|--------------|--|

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

| 重点事項 | 具体的な成果目標(めざそう値) | 具体的な取組内容 | 進捗状況(年度中間) | 年度末の達成状況 |
|------------------------|-------------------|--|---|---|
| 担い手の育成 【農政課】 | (1)認定農業者 7 名の新規認定 | 担い手育成総合支援事業の推進 経営能力向上講習会の実施 先進的経営体現地研修の実施 経営改善支援戸別巡回指導の実施 | アクションサポート会議,担当者 会,幹事会,総会の開催(6月) 複式簿記研修(8月) 法人化基礎研修(9月) | アクションサポート会議,実務 担当者会,幹事会,総会の開催(6 月) 複式簿記研修(8月) 法人化基礎研修(9月) |

平成21年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

| | | | | |
|---------------------|------------------------------------|--|---|--|
| | | | 先進的経営体現地研修 (果樹部門：和歌山県) (普通作部門：福岡県) 認定農業者3名増 (新規8名,更新12名,脱退5名) | 先進的経営体現地研修 1.野菜・花卉,2.茶業,3.果樹,4.認定農業者,5.園芸,6.普通作,7.甑和牛,8.畜産 計8部門 経営改善支援戸別巡回指導の実施(84件) 認定農業者5名増 (新規14名,脱退9名,更新33名) |
| | (2)新規就農者10名の育成 (うち農業公社研修生5名) | 農業公社研修事業による支援 新規就農支援金・奨励補助事業の実施 | 4月から7名,7月から1名の計8名が研修生として研修中 ・6月から1名が就農 4月から8名が新規就農支援金を実施 ・奨励補助事業を2名が実施 | 8名が研修生として研修した。 ・6月に1名・12月に2名就農。 8名が新規就農支援金を実施した。 ・奨励補助事業を6名が実施した。 |
| | (3)集落営農組織を1団体設立 農用地利用改善団体を2団体設立 | がんばる地域営農支援推進事業の実施(県単事業) かたろう集落営農組織育成事業の実施(市単事業) | 陽成地区,草道地区,湯田地区(3地区) 農業法人3(やまだ,ふじかわ,藤の郷),入来2(山下鹿子田), 祁答院2(轟,中原)里1(計8) 事業実施中 | 陽成地区,草道地区,湯田地区(3地区)事業実施 陽成地区が農地利用改善団体承認申請準備中 農業法人3(やまだ,ふじかわ,藤の郷), 入来2(山下鹿子田,朝陽上), 祁答院2(轟,中原)里1(計8)事業実施 |
| 耕作放棄地再生の推進 【農政課】 | (1)耕作放棄地の解消及び有効活用13ha | 耕作放棄地対策協議会による現地調査及び農地利用調整 | 湯田町,高城町,樋脇町2,計4件(462a)再生作業実施中 | 川内地域2地区,樋脇地域3地区,東郷2地区 計7地区,485a 解消 |
| | (2)解消試験栽培面積0.4ha | 耕作放棄地解消試験栽培交付金事業の実施 | ・2つの事業主体で解消試験を実施中(0.2ha) ・1つの事業主体で0.2haの実施を予定している。 | 川内地区で2箇所,入来地区で2箇所実施完了 品目は,さといも,茶,きんかん 試験面積は,77a |

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

| | | | | |
|------------------------|--|---------------------------------------|---|---|
| | (3)中山間地域等直接支払交付金事業の実施活動 56 集落協定 881 ha | 中山間地域等直接支払交付金事業の実施 | 56 集落協定 881ha 継続実施中 | 56 集落協定 881.8ha 実施 |
| 新規, 重点品目の振興 【農政課】 | (1)地域特性のある新品目の創設 2 品目 | 地域特性のある新品目栽培試験の実施(エシャレット, スイートコーンの栽培) | ・エシャレットの試験を実施中 ・スイートコーンは2月より実施予定 | エシャレット 10 a, スイートコーン 2 a で事業実施した。 |
| | (2)重点品目の産地拡大 きんかん 0.6 ha ごぼう 1.0 ha | 県, 市補助事業による産地拡大を図る。 | ・きんかんは, 県単事業により 0.6 ha の産地拡大を図っている。 ・ごぼうは, 市単独事業により 1.1 ha の産地拡大を図る予定。 | きんかんは, 県単事業で 0.6ha の産地拡大を実施した。 ごぼうは, 市単独事業で 1.1ha の産地拡大を図った。 |
| | (3)産地域振興作物の出荷促進 2 品目 | 産農産物地産地消促進事業実施によるソラマメ, タマネギの出荷 | ・ソラマメは, 4月に1.5トンの出荷を行った。 ・タマネギは, 2月からの出荷を予定している。 | ソラマメは1.5トンの実績であった。 タマネギは, 6.0トンの実績であった。 |
| 農産物の販売促進 【農政課】 | (1) 1 回 | らっきょう消費地会議 | 4月に実施した。 | 4月に実施した。 |
| | (2) 5 回 | 茶販売促進活動 | 1 1 月より実施予定 | 1 1, 1 2 月実施 |
| | (3) 4 回 | 祁答院観光農園祭り | 計画に基づき 4 回実施した。 | 8, 9 月に 4 回実施した。 |
| | (4) 5 回 | さつま雪もち販売促進活動 | 計画に基づき 1 回実施した。 | 1 2 月, 3 月に実施した。 |
| | (5) 1 回 | きんかん消費地会議 | 1 1 月実施予定 | 1 1 月実施した。 |
| | (6) 1 回 | ごぼう消費地会議 | 1 1 月実施予定 | 1 1 月実施予定した。 |
| | (7) 1 回 | きんかん試食宣伝会 | 2 2 年 1 月実施予定 | 2 2 年 1 月実施した。 |
| | (8) 1 回 | 青果物宣伝キャラバン (トップセールス) | 2 2 年 1 月実施予定 | 2 2 年 1 月実施した。 |
| 地産地消及び食農教育の推進 【農政課】 | (1)産業祭での「地産地消・食農教育コーナー」設置 1 回 | 産業祭等イベントでの推進 | 1 1 月 2 2 日開催の産業祭 & JA フェスタで「地産地消・食育コーナー」を設置予定 | 「地産地消・食農教育コーナー」の設置 |
| | (2)先進地調査・関係者会議 5 回 | 地産地消・食育計画の策定準備 | 関係者会議を 2 2 年 1 月と 3 月に開催予定 | 計画策定に向けてのスケジュール等の検討 |

部 局 経 営 方 針

平成21年度

薩摩川内市

| | | | | |
|-------------------------------------|--|---------------------------------|---|---|
| 特産品開発研究事業 【農政課】 | (1)特産品コンクール入賞品 6品 市長賞(第4回コンクール) 1品 | 特産品コンクールの実施 商談会への参加(東京) | 10月6日特産品コンクールを 実施(入賞品6品) 22年1月開催予定の商談会(東 京)に参加予定 | 特産品コンクール入賞品6品 商談会への参加(市長賞1業 者) |
| | (2)本市特産農産物(重点7品 目)の研究・開発 | 市生活研究グループでの開発 研究業務委託・レシピ集の作成 | 重点7品目のうち3品目開発研 究中 レシピ集については作成準備中 | 重点7品目の開発・研究 活動記録集の作成 |
| 肉用牛繁殖めす牛 の更新及び増頭 【畜産課】 | (1)肉用牛繁殖めす牛の更新及 び飼養頭数の増頭 優良雌牛の確保:130頭 | 優良家畜保留導入助成事業の活用 による優良雌牛の確保 | 優良雌牛導入実績(上期) 73頭(56.2%) | 優良雌牛導入実績 160頭(123%) |
| 家畜伝染病の発生 防止と環境保全の 徹底 【畜産課】 | (1)家畜伝染病発生ゼロ | 家畜防疫対策事業の徹底 畜産環境保全の徹底 | 牛異常産三種混合予防注射の実 施 ・牛舎消毒の実施 ・家畜糞尿の適正処理 | 家畜伝染病発生ゼロ |
| 優秀な種雄牛の早 期造成 【畜産課】 | (1)若い種雄牛の試験種付けの 実施 頭数60頭 | 優秀種雄牛造成推進事業 | 試験種付実施中(種雄牛3頭) (期間7~12月) | 試験種付実績(種雄牛3頭) 132頭 220% |
| 肉用牛肥育農家の 経営安定 【畜産課】 | (1)肥育素牛導入資金貸付基金 貸付 頭数46頭 | 肥育素牛導入資金貸付基金活用 の推進 | 肥育素牛導入実績(上期) 4頭(8.6%) | 肥育素牛導入実績 16頭(34.86%) |
| 森林整備の推進 【林務水産課】 | (1)間伐目標面積 約382ha 森林づくり推進員活動 目標38人 延べ684日 | 地域ぐるみの間伐等による森林整 備を推進 | 8月19日に推進員による打合 会及び研修会を実施し間伐を推進 している。 | ・間伐面積実績79.63ha ・森づくり推進員活動実績 37名 684日 |
| | (2)基盤整備目標 作業路開設 500m 集材路開設 5,500m | 森林づくりのための基盤である作 業路,集材路の開設 | 作業中 | 基盤整備実績 作業路開設 集材路開設 |
| 林道等の整備促進 【林務水産課】 | (1)市施工の林道整備 開設3路線 | 地域森林計画に基づく林道整備 | 10月までに全路線発注済み | 市施行の林道事業 林道開設3路線 新ヶ倉1号線及び支線(樋脇) 幅員3.5~4.0m延長359m |

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

| | | | | |
|--------------------|---|--|--|--|
| | | | | 大平良線（里） 幅員 4.0m延長 440m 松木場線（祁答院） 幅員 4.0m延長 370m |
| | (2)県施工の林道整備 開設 2 路線 | 地域森林計画に基づく林道整備 | 8 月までに全路線発注済み | 県施行の林道事業 林道開設 2 路線 横座線（城上・東郷） 幅員 4.0m延長 440m 上ノ郡支線（祁答院） 幅員 3.5m延長 715m |
| | (3)県費単独補助治山事業 9 箇所 | 治山事業の実施 | 県内示が 1 箇所(1 0 月までに発注済み) | 県費単独補助治山事業 1 箇所 港町松原地区 |
| 水産資源の再生 【林務水産課】 | (1)甌島地域水産資源再生調査 ・平成 2 1 年度まで藻場再生のための造成試験 【参考】 H18～H20 甌島沿岸の新たな水産資源の掘り起こし H22～調査に基づき、アマモ等を用いた藻場造成を実施予定 | 民間のシンクタンクへ委託 漁業関係者や学識経験者等からなる検討委員会開催 報告書作成 | 7 月に藻場造成試験の追跡調査 | 平成 2 2 年 2 月 2 5 日に完成し、3 月 1 5 日に鹿島町で結果報告を実施した。 今後の取り組みとして、アマモの増殖とナガラメの放流が効果的との結果から漁業集落事業を使って取り組むこととしたい。 |
| 魚食普及の促進 【林務水産課】 | (1)【お魚まつり目標】 開催回数 年 1 回(1 0 月) 来場者数 30,000 人 | 川内市漁協、甌島漁協及び川内市内水面漁協で構成されるお魚まつり実行委員会への人的・資金的支援 | 1 0 月 2 5 日開催 (来場者数 32,000 人) | 雨天にも拘らず来場者数が目標を上回り、薩摩川内市の行事として定着している。 |
| | (2)【とれたて市目標】 開催回数 年 11 回(毎月) 来場者数 年 22,000 人 | 川内市漁協及び甌島漁協で構成されるとれたて市への人的支援・資金的支援 | ・ 5 月 2 3 日(1,000 人) ・ 6 月 2 7 日(1,000 人) ・ 7 月 2 5 日(300 人) ・ 8 月 2 2 日(300 人) ・ 9 月 2 6 日(500 人) | ・ 1 1 月 2 8 日(200 人) ・ 1 2 月 2 6 日(200 人) ・ 1 月 2 3 日(300 人) ・ 2 月 2 6 日(400 人) ・ 3 月 2 7 日(500 人) |

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

| | | | | |
|-----------------------------------|--|---|--|---|
| | | | | 来場者数年間 4,500 人と目標には及ばなかったものの売上額が前年度を 66 万円程度上回り、魚を購入目的の客層が増えている。 |
| 県単土地改良事業の推進 【耕地課】 | (1)農業農村活性化推進施設整備事業・百次原地区畑かん施設改良工事 | 百次原畑かん給水栓等取替工事発注準備 | 現地調査等（発注準備中） | 事業実施完了 給水栓取替 95 個 |
| 県営農業農村整備事業の推進 【耕地課】 | (1)湛水防除事業（隈之城地区）他 5 地区 | 湛水防除事業（隈之城地区）他 6 地区での事業実施 | 各事業県と協議を行い事業実施中 | ・ 隈之城第 2 排水機場（用地）（敷地造成完了） |
| 土地改良・湛水防除施設の維持管理適正化事業の実施 【耕地課】 | (1)桜山地区揚水ポンプ改修工事 | 桜山地区揚水ポンプ等の取替工事発注準備（申請事務等） | 事業実施中（8 / 5 入札済） | ・ 主ポンプ取替 1 台完了 ・ 真空ポンプ取替 1 台完了 |
| 農地・水・環境保全向上活動支援事業の実施 【耕地課】 | (1)活動地区 30 地区 目標面積 1,591 ha | 活動地区 30 地区・面積 1,591 ha で農地・水・環境保全事業を実施 | 市内 30 地区で事業実施中（面積 1,591ha） | 現在活動地区 29 地区・活動面積 1,591ha で事業を実施 |
| 農地流動化の推進 【農業委員会事務局】 | (1)流動化面積 105 ha | 農業委員・流動化推進員及び農業公社と連携した規模拡大農家への農地流動化の推進 農地流動化促進事業補助金を活用 | 9月30日現在 流動化面積 72 ha 農地流動化補助金 5,709,600 円 | 3月31日現在 流動化面積 131ha 農地流動化補助金 11,991,900 円 |
| 耕作放棄地の解消 【農業委員会事務局】 | (1)農地パトロールの実施 504 回 (42 人×12 ヶ月×1 回) | 農地パトロールによる解消と農地の適正管理指導 | 耕作放棄地の重点地区を選定し解消に努めている。また、農業委員の日常業務としてパトロールを実施し解消に努めている。 | 農業委員による遊休農地に関する相談を 153 回実施。 アクションサポート事業・農地利用調整活動活用による 6 地域 2.4ha を解消。 農地パトロールの実施。 |

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

| | |
|--------|---|
| 年度中間総括 | <p>農政課 各重点事項について、ほぼ順調に事業が進行している。今後さらに事業への取り組みを強化していくこととしている。</p> <p>畜産課 畜産振興を促進するため、重点事項の具体的な成果目標達成に向けて取り組んでおり、優良雌牛導入を始め各重点事項についても、ほぼ順調に事業が進行しているが、肥育素牛導入資金貸付による肥育素牛導入の進捗率が低いので、今後さらに事業への取り組みを強化していくこととしている。</p> <p>林務水産課 事業については、計画通り行われている。集客を伴う「とれたて市」については、集客をのばす検討が必要である。</p> <p>耕地課 一部事業について、発注準備が遅れているので期限内に完了するよう取り組んでいく。</p> <p>農業委員会事務局 農地流動化もほぼ順調に事業が進行している。</p> |
| 年度末総括 | <p>農政課 「農業振興ビジョン平成 2 1 年度実施計画」に基づき各種事業を実施した。特に、重点事項は、関係機関と連携を図りほぼ達成できた。</p> <p>畜産課 重点事項について、ほぼ順調に事業が進められたが、肥育素牛導入資金貸付による肥育素牛導入の利用率が低いので、今後、農家が利用しやすい制度にするための検討が必要である。</p> <p>耕地課 一部事業において発注が遅れたが、期限内に完了した。</p> <p>林務水産課 事業については、計画通り行われたと考える。「とれたて市」のソフト的な事業については、引き続き検討の余地がある。</p> <p>農業委員会事務局 農地流動化の推進については目標面積に対し達成率 124%を示し、農地流動化が促進された。また、耕作放棄地の解消については、農業委員が自ら 6 地域で耕作放棄地解消に努め、2.4ha を解消したとともに、農家より遊休農地に関する相談を受け、農地流動につとめた。今後とも関係機関と連携を図りながら、遊休農地の調査とともに、解消と発生防止に努める。</p> |